

やまもも

稲沢市立大里東中学校学校だより
令和5年1月吉日 第181号

編集・発行 長澤 辰夫

正月(むつき)立つ 春の初めに かくしつ 相し笑みてば 時じけめやも
大伴家持

1月に大伴家持の和歌をあげてみました。家持は、万葉集の編纂にかかわったのではないかとわれている、奈良時代の代表的な歌人です。和歌の意味は、「陰暦正月を迎える、春のはじめに、このようにして、お互いに笑顔をかかわすことは、時節外れかなあ、いや、時節にふさわしい。」です。コロナ禍ではありますが、家族や親類の方が笑顔でそろった、お正月らしい喜ばしい風景が思い浮かんできます。

本校も、全校生徒が、笑顔で集まり3学期がスタートしました。令和4年度のまとめの時期がやってきました。これまでの生徒や先生方の取り組みの成果を実感できる笑顔あふれる3学期にしたいものです。

感動! 1年生の清掃活動に!



1年生が毎日の清掃に熱心に取り組んでいます。東中ブランドのひとつである、美しい環境づくりを皆で実践しています。掃除場所は、教室、廊下、トイレ、そして、校庭と広範囲です。しかも、どの掃除場所でも、一生懸命で、子どもたちの笑顔が絶えません。

あらためて、東中生の誠実さ、心根の美しさを感じます。



心温まる光景から1日をスタートさせてくれる子どもたちに感謝です。こうしてみると、1年生は本当に成長しました。身長も伸び、顔つきも大人びてきました。

「いつ先輩と呼ばれても大丈夫!」
頼もしい限りです。

2年生の教室で見つけました!

”最高学年に向けて!”

3年生が入試に向けて全力で臨んでいる今、2年生は、まさに本校の顔です。教室に掲示されている1枚1枚を読むと、2年生の子どもたちの意気込みが感じられます。これも、頼もしい限りです。

2月にある「3年生を送る会」に向けて、1年生をリードしながら準備に入っています。すでに、最高学年としての片鱗が現れてきました。2年生の活躍に心からエールを送ります。

